

IBM dashDB Enterprise

ご利用条件(以下「ToU」といいます。)は、本「IBM ご利用条件 - SaaS 特定オファリング条件」(以下「SaaS 特定オファリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 - 一般条件」(以下「一般条件」といいます。)で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オファリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オファリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オファリングのご契約条件」のうち該当する契約条件(以下「本契約」といいます。)が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

アプリケーションおよびサービスを構築、実行、管理するための IBM のオープン・スタンダード・クラウド・プラットフォームである IBM Bluemix は、「IBM SaaS」の技術上の前提条件です。新規ユーザーは、オンライン登録フォーム (<https://console.ng.bluemix.net/registration>) によりアクセス登録ができます。

1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オファリングに、これらの「SaaS 特定オファリング条件」が適用されます。

- IBM dashDB Enterprise
 - IBM dashDB Enterprise 64.1
 - IBM dashDB Enterprise 256.4
 - IBM dashDB Enterprise 256.12
 - IBM dashDB Enterprise for Transactions 2.8.500
 - IBM dashDB Enterprise for Transactions 12.128.1400
 - IBM dashDB Enterprise for Transactions High Availability 2.8.500
 - IBM dashDB Enterprise for Transactions High Availability 12.128.1400
- IBM dashDB Enterprise MPP.4TB Bare Metal Node
- IBM dashDB Enterprise MPP 4TB Bare Metal Node BYOL
- IBM dashDB Enterprise MPP 32.244.1400 for AWS
- IBM dashDB Enterprise MPP 48.1024.7550

2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- a. 「**インスタンス**」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「IBM SaaS」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用することが可能な「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
- b. 「**エンゲージメント**」は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、「IBM SaaS」に関連するプロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

3.1 使用許諾要件

IBM dashDB Enterprise MPP の場合、クラスターごとに少なくとも3つのノードを構成する必要があり、またお客様はノードごとに1つの「インスタンス」使用許諾を取得しなければならないものとします。

3.2 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

3.3 リモート・サービス料金

「リモート・サービス」は、「エンゲージメント」ごとに購入するものとし、「取引文書」に記載された料金で請求されます。

3.3.1 IBM dashDB Enterprise Jump Start Remotely Delivered

スタートアップ・アクティビティーについて最大50時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには以下が含まれます。(1) ユース・ケースによる支援、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールのベスト・プラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス、(4) その他管理および構成に関して関心のある主題。(以下総称して「スタートアップ・アクティビティー」といいます。)
「サービス」は「エンゲージメント」ごとに購入するものとし、全時間数を使用したか否かにかかわらず、購入日または「IBM SaaS」へのアクセスが可能になった旨をお客様が IBM から通知された日のいずれか遅い日から90日後に満了となります。

3.3.2 IBM dashDB Enterprise Accelerator Remotely Delivered

「スタートアップ・アクティビティー」、または1つ以上の相互に同意した「取引文書」において購入時に明記し、範囲を規定した他の活動の実施について、最大50時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。「サービス」は、「エンゲージメント」ごとに購入するものとし、全時間数を使用したか否かにかかわらず、本「リモート・サービス」の使用許諾の購入日または「IBM SaaS」の当初サブスクリプション期間の最終日のいずれか早い日から12か月後に満了となります。

4. 期間および更新オプション

「IBM SaaS」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「IBM SaaS」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「IBM SaaS」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも90日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「IBM SaaS」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「IBM SaaS」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「IBM SaaS」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

5. テクニカル・サポート

「IBM SaaS」のテクニカル・サポートは、オンライン・フォーラム、および <https://support.ibmcloud.com> のお客様ポータルで利用可能なオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM は、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook を提供します。テクニカル・サポートは「IBM SaaS」で提供されるものであり、個別のオファリングとして利用できるものではありません。

重要度	重要度の定義	目標応答時間	対象応答時間
1	<p>重大な事業影響/サービス・ダウン 事業上の重要な機能が作動不能である、または重要なインターフェースが機能しない状態。これは通常実稼働環境に適用され、サービスにアクセスできないことにより業務に重大な影響が生じることを示します。この状況は、即時に解決する必要があります。</p> <p>重要度1の問題の場合、お客様には、1日24時間週7日、IBMが問題を診断するのを支援することが求められます。かかる支援ができない場合には、問題は重要度2にダウングレードされます。</p>	1時間以内	1日24時間週7日
2	<p>著しい事業影響 サービス事業機能またはサービスの機能が著しく制限されているか、お客様が事業の最終期限に間に合わない危険にさらされている状態。</p>	2営業時間以内	月曜から金曜の営業時間
3	<p>軽度の事業影響 サービスまたは機能を使用することができ、業務に重大な影響がないことを示す。</p>	4営業時間以内	月曜から金曜の営業時間
4	<p>最小の事業影響 問い合わせまたは非技術的な依頼。</p>	1営業日以内	月曜から金曜の営業時間

6. イネープリング・ソフトウェア

以下の IBM ソフトウェア使用許諾は、下記の制限に加えて、それぞれ該当する IBM プログラム・ライセンスの条件に基づいて使用できるソフトウェアとして含まれます。

InfoSphere DataStage

使用許諾: 280 PVU (InfoSphere DataStage の「ライセンス情報」資料の定義どおり)

使用制限: お客様は、「IBM SaaS」にデータを読み込むためにのみ InfoSphere DataStage を使用することができます。

InfoSphere DataStage and QualityStage Designer

使用許諾: 同時ユーザー 2 名 (InfoSphere DataStage and QualityStage Designer の「ライセンス情報」資料の定義どおり)

使用制限: お客様は、「IBM SaaS」にデータを読み込むためにのみ InfoSphere DataStage and QualityStage Designer を使用することができます。

7. 「IBM SaaS」オフリングの追加条件

7.1 Cookie

お客様は、IBM が「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の利用に関連してお客様(お客様の従業員および従契約者)から個人情報を収集することがあることを認識し、これに同意するものとします。IBM によるこのような情報収集は、ユーザー・エクスペリエンスの向上またはお客様との対話の調整を目的とし、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を収集するために行うものです。お客様は、IBM、その他の IBM グループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域において、適用法に従い、IBM、その他の IBM グループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報を以上の目的のために処理することができるよう、お客様が同意を取得すること、または取得済みであることを確認するものとします。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従うものとします。

7.2 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する所在地の税金が適用されます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

7.3 セキュリティー情報

7.3.1 個人情報および規制対象データ

本「IBM SaaS」は、個人情報またはセンシティブ個人情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティ要件に則して設計されているものではありません。お客様は、お客様が「IBM SaaS」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「IBM SaaS」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。「IBM SaaS」は、1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA) に基づいて保護されている保護医療情報 (PHI) の伝送または保存のために使用することはできません。ただし、(a) IBM とお客様が適用される「Business Associate Agreement」を締結している場合、および (b) IBM がお客様に「IBM SaaS」が PHI とともに使用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「PHI」を処理するために「IBM SaaS」を使用してはなりません。

7.3.2 蓄積データの使用

IBM は、「IBM SaaS」に対する改善や拡張の IBM 社内における研究、テスト、および開発、またはよりカスタマイズされた有意義な経験をユーザーに提供する新サービスの開発を目的として、お客様による「IBM SaaS」の使用を監視することができます。この利用の際に、IBM は、お客様の許可ユーザーによる「IBM SaaS」の利用を反映する、集計された匿名形式の要約情報を集約して分析し、報告書、研究論文、分析、ならびに前記の集約および分析の結果によるその他の研究物 (以下、総称して「集約データ」といいます。) を作成する場合があります。IBM は、「集約データ」に対する権利を保持するものとします。

7.3.3 ユーザー管理

「IBM SaaS」のプロビジョニングの際に、1 人の管理ユーザーがお客様のために作成されます。dashDB コンソールでは、追加のユーザーを作成する機能が管理ユーザーに提供されます。お客様は、コンソールによって定義されたユーザー、およびユーザーに割り当てられたアクセスのレベルを管理する責任を全面的に負うものとします。

7.3.4 「IBM SaaS」のデータ・ストアに対する直接アクセス

管理ユーザーおよび標準ユーザーのどちらも、「IBM SaaS」の外部で実行される IBM DB2 クライアント・プログラムを使用して、「IBM SaaS」のデータ・ストアに直接アクセスすることができます。お客様は、お客様の要件に従って、かかるアクセスがセキュリティ保護されるようにする責任を全面的に負うものとします。例えば、お客様は、ネットワーク・トラフィックの保護のために SSL が使用されるように、クライアントを設定することができます。

7.3.5 テーブル・レベルのアクセス制御

本「IBM SaaS」では、お客様は、テーブルなどの一定のデータベース・オブジェクトに関連するアクセス権限を管理することができます。お客様は、かかるアクセス権限について、割り当て、管理、および見直しを行う責任を全面的に負うものとします。

7.3.6 監査報告

監視報告は、dashDB のコンソールを介してお客様に提供されます。お客様は、反映したアクティビティが許可されているかどうかを判断するために、報告書にアクセスし、解釈する責任を全面的に負うものとします。

7.3.7 暗号化

「IBM SaaS」のデータベースは自動的に暗号化されます。暗号化には、256 ビット長の鍵を伴う、Cipher-Block Chaining (CBC) モードによる Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。また、

データベースのバックアップ・イメージは、自動的に圧縮および暗号化されます。バックアップ・イメージは、256 ビット長の鍵を伴う、CBC モードによる AES を使用して暗号化されます。

7.4 ベータ機能

「IBM SaaS」の一部の機能、フィーチャーまたはコンポーネントは早期リリースまたはテクノロジーのプレビュー版で、「IBM SaaS」内で「ベータ」として特定されることがあります。(以下「ベータ機能」といいます。)これらの「ベータ機能」は、本項の制限および条件を前提として、「IBM SaaS」のお客様の許可された使用の一部として利用することができます。「ベータ機能」の使用はお客様自身の責任であり、いかなる種類のサポートの義務も伴わず提供されます。「ベータ機能」は、「現状有姿」で提供され、明示もしくは黙示のいかなる保証責任も負わないものとします。これには権原保証責任、権利の不侵害または不干渉に関する保証責任および商品性、特定目的適合性に関する黙示的保証または条件を含みますが、これに限定されません。「ベータ機能」は、IBM によって、製品もしくはオフアリングとして、または製品もしくはオフアリングに組み込まれて一般出荷可能になっていない場合があります。IBM は、いつでも事前の通知なく、「ベータ機能」へのアクセスを中止または終了することができます。お客様は、「ベータ機能」を使用できなくなった場合に起こりうるデータの損失を回避するため、予防措置を講じなければなりません。IBM に対しお客様が提供した「ベータ機能」に関するフィードバックまたは提案は、IBM の製品およびサービスの開発、配布、展開および販売において、自由に使用、複製、変更でき、また組み込むことができます。

8. サービス・レベル目標

IBM が「IBM SaaS」をお客様に対し利用可能にした後に、IBM は以下の「IBM SaaS」に関するサービス・レベル目標(以下「SLO」といいます。)を提供します。

IBM は、以下によって、99.9% のサービス可用性を SLO として提供します。

- a. ポータルまたはコマンド・ラインを介してアプリケーションを展開する機能。
- b. アプリケーション・サービスへの接続機能。
- c. 個別のサービス・インスタンスの可用性。

この時点では、サービス・レベル・クレジットまたは報告は提供されません。

9. IBM dashDB Enterprise MPP 32.244.1400 for AWS 計画のみに適用可能な条件

お客様の「IBM SaaS」使用許諾が「AWS 用」と指定されている場合には、以下の条件が適用されます。

「IBM SaaS」のアプリケーション層、ならびにお客様のデータおよびコンテンツは、IBM が運用していない、第三者クラウド・サービスのインフラストラクチャーおよびプラットフォーム上で稼働します。

「IBM SaaS」インフラストラクチャー、「IBM SaaS」プラットフォームの特定の側面、および関連サービス(データ・センター、サーバー、ストレージ、ネットワーク、アプリケーションおよびデータのバックアップ、ファイアウォールおよび脅威検知、ならびにアプリケーションの展開、モニタリングおよび運用を含みます。)(以下、総称して「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」といいます。)は第三者プロバイダーによって運営・管理されます。従って、本「ToU」、「共通条項」、「本契約」のいかなる規定にもかかわらず、以下の定めが適用されます。

- a. 本「ToU」、「共通条項」および「本契約」におけるデータ・セキュリティおよびデータ保護に関連する IBM の義務、ならびに「Data Security and Privacy Principles: IBM Cloud Services」という資料に記載された IBM のデータ・セキュリティおよびデータ保護に関するプラクティスの記述は、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に依存している範囲において、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」または、「IBM SaaS」に適用されません。「IBM SaaS」は、「保護医療情報 (PHI)」の送信、保管、処理に使用しないものとします。
- b. 「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」のプロバイダーが、自らのサービスまたは IBM もしくはお客様のかかるサービスへのアクセスを中止または終了したことを IBM に通知した場合、IBM は、お客様に終了通知を提供することにより第三者プロバイダーによるかかる終了の効力が発生する日をもって「IBM SaaS」を即時終了できます。

- c. IBM は、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に関して、または「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に依存している範囲において「IBM SaaS」に対して、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行わず、いかなる条件も設けず、またお客様に対して責任を負わないものとします。
- d. お客様は、以下に関して、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」プロバイダーが IBM を相手に提起した請求に起因または関連するあらゆる請求、損害、損失、負債、費用、および経費（合理的な範囲の弁護士費用を含みます。）について IBM を補償、防御し、IBM を免責することに同意します。(a) お客様による「IBM SaaS」の使用、(b) 本「TOU」、「共通条項」もしくは「本契約」の違反、またはお客様による適用法の違反、(c) お客様のコンテンツ、ならびにお客様のコンテンツとその他のアプリケーション、コンテンツまたはプロセスとの組み合わせ（お客様のコンテンツによる、またはお客様のコンテンツの使用、設計、生産、広告またはマーケティングによる、第三者の権利の侵害や濫用の申し立てがあった請求を含みます。）、または (d) IBM およびお客様の間の紛争。

10. IBM dashDB Enterprise MPP 4TB Bare Metal Node BYOL 計画のみに適用可能な条件

BYOL (Bring Your Own License) オファリングでは、お客様は、下表に明記された関連する IBM プログラムの適切なライセンス資格を事前に取得している必要があります。BYOL オファリングに対するお客様の使用許諾は、下記の比率で、関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾を超えることはできません。

BYOL オファリングには、関連 IBM プログラムのサブスクリプション & サポートは含まれていません。お客様は、関連 IBM プログラムに対する適用可能な (1) ライセンス資格、および (2) サブスクリプション & サポートを予め取得していることを表明するものとします。BYOL オファリングのサブスクリプション期間中、お客様は、BYOL オファリングの使用許諾と併せて使用する IBM プログラム使用許諾の現在のサブスクリプション & サポートを維持する必要があります。関連 IBM プログラムを使用するためのお客様のライセンス、または関連 IBM プログラムのお客様のサブスクリプション & サポートのいずれかが終了した場合、お客様の BYOL オファリングを使用する権利は終了します。

下表は、規定された対応する使用許諾に基づいた BYOL オファリングの使用に必要な関連 IBM プログラムの使用許諾の割合の概要を説明したものです。お客様は BYOL オファリングを取得後、お客様が BYOL オファリングを使用する間、BYOL オファリングの使用に適用される関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾は中断され、お客様はそれ以降、当該使用許諾を使用して、関連 IBM プログラム（規定された例外の対象）を展開することはできません。

関連 IBM プログラム	BYOL オファリング	比率 n/m*
DB2 ADVANCED ENTERPRISE SERVER EDITION	IBM dashDB ENTERPRISE MPP 4TB Bare Metal Node BYOL	比率: 1680 PVU/1 インスタンス
DB2 FOR BIG DATA	IBM dashDB ENTERPRISE MPP 4TB Bare Metal Node BYOL	比率: 840 PVU/1 インスタンス
DB2 ADVANCED WORKGROUP SERVER EDITION	IBM dashDB ENTERPRISE MPP 4TB Bare Metal Node BYOL	比率: 3TB/1 インスタンス
DB2 ADVANCED ENTERPRISE SERVER EDITION	IBM dashDB ENTERPRISE MPP 4TB Bare Metal Node BYOL	比率: 3TB/1 インスタンス
DB2 FOR BIG DATA	IBM dashDB ENTERPRISE MPP 4TB Bare Metal Node BYOL	比率: 2TB/1 インスタンス
DB2 ADVANCED CEO	IBM dashDB ENTERPRISE MPP 4TB Bare Metal Node BYOL	N 人の許可ユーザー/1 インスタンスに対して比率 1**
DB2 DEVELOPER EDITION	IBM dashDB ENTERPRISE MPP 4TB Bare Metal Node BYOL	N 人の許可ユーザー/1 インスタンスに対して比率 1**/**

* 「割合 n/m」は、関連 IBM プログラムに対して示された測定基準の使用許諾数ごと（以下「n」といいます。）に対して、お客様が当該使用許諾を、BYOL オファリングに対して示された測定基準について記載された数（以下「m」といいます。）の使用許諾に適用できることをいいます。

**** DB2 Advanced CEO Offering および DB2 Developer Edition に関する例外:** 上記の条件にかかわらず、お客様が DB2 Advanced CEO Offering または DB2 Developer Edition のいずれかの「許可ユーザー」使用許諾を BYOL オファリングに適用する場合、お客様の「許可ユーザー」使用許諾の合計は、その数量に関係なく、BYOL オファリングに対する 1 つの「インスタンス」使用許諾に適用できます。ただし、以下の追加条件に基づきます。(1) お客様は、お客様による BYOL オファリングの使用と同時に、お客様による関連 IBM プログラムの展開に対してすべての「許可ユーザー」使用許諾を引き続き使用できますが、(2) お客様が関連 IBM プログラムに対して使用許諾を有する「許可ユーザー」のみが BYOL オファリングにアクセスしたり、使用したりできることが条件となります。

***** DB2 Developer Edition の例外:** 上記の制限に加え、お客様が DB2 Developer Edition の使用許諾を BYOL オファリングに適用する場合、お客様による BYOL オファリングの使用は、「非実稼働」使用のみに制限されます。「非実稼働」とは、BYOL オファリングが、お客様の内部非実稼働活動用のお客様内部の開発およびテスト環境の一部としてのみ、使用することができることをいいます。非実稼働活動には、テスト、性能調整、故障診断、内部ベンチマーク、ステージング、品質保証活動または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の BYOL オファリングに対する追加もしくは拡張の開発が含まれますが、これらに限られません。お客様は、「IBM SaaS」のいかなる部分も、実稼働に関する適切な使用権を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。

別紙 A

IBM dashDB Enterprise は、オンライン分析アプリケーション処理の開発を支援するマネージド・サービスです。このサービスには、構造化形式でユーザー・データを保管するデータベースが含まれます。本データベースは、サービスのコンソールを介してユーザーの要件に従ってアクセスすることおよびモデル化することができます。サービスのコンソールにより、ユーザーは、テーブルの作成、テーブルへのデータのロード、およびユーザーがロードしたデータの照会を行うことができます。分析レポートの作成、保管、共有を支援するツールおよび環境は、サービスに含まれます。サービスには、オンライン分析アプリケーションの作成を支援するサンプルおよび文書が含まれています。

dashDB Enterprise Transactional 計画では、オンライン・トランザクション処理 (OLTP) 用に最適化された dashDB データベースが提供されます。このサービスには、構造化形式でユーザー・データを保管するデータベースが含まれます。本データベースは、サービスのコンソールを介してユーザーの要件に従ってアクセスすることおよびモデル化することができます。サービスのコンソールにより、ユーザーは、テーブルの作成、テーブルへのデータのロード、およびユーザーがロードしたデータの照会を行うことができます。

IBM dashDB Enterprise MPP は、IBM dashDB サービスのクラスター構成であり、単一システムとして一緒に管理される独立したデータベース・ノードのセットを構成します。データベース運用は、すべてのデータベース・ノード間で並列処理されます。IBM は、関連するノードを 1 つのクラスターに構成します。